

▼後ろのスコアボードには「祝 彦根東高等学校 甲子園出場おめでとうございます」の文字が。

7月31日に彦根球場で、球場練習が行われた。練習後に選手に話を聞いた。



小雨の中 甲子園へ向けて猛練習



速報新聞

キマグレ

発行所
彦根東高等学校
新聞部
彦根市金亀町4番7号

「決勝戦後、友達からたくさんメールやLINEが来ていてうれしかった。優勝すると親戚が増えるというのも本当だと思った」と川端君は笑って話す。自分自身のプレーについては「初回のファーストストライクで出塁できることが僕の強み。チーム全体に

初回で勢いを

川端将広君(3-8)

球場練習は小雨が降るなか行われた。東高野球部員はそれぞれのポジションに立ち、ピッチングやバッティング、守備の練習を広い彦根球場で行った。雨脚が強くなり、選手全員がベンチに戻る場面も見られたが、数分で小雨に戻り、再び練習が開始された。球場練習の様子はNHKとBBCが撮影を、朝日新聞、毎日新聞、産経新聞、滋賀夕刊など新聞各社が選手に取材された。

学校の友人や、すれ違う見知らぬ人からもお祝いの言葉を頂いた。注目されていると実感したし、嬉しかった」という。キャッチャーとしての今後の課題については「送球を速く、正確にしていきたい。また、ピッチャーや周りの変化に素早く気付いて対応する

応援でピンチがチャンスに

武田圭太君(3-6)

甲子園出場が決まってからの周囲の反応を尋ねると「家族はとても喜んでくれた。学校の友人や、すれ違う見知らぬ人からもお祝いの言葉を頂いた。注目されていると実感したし、嬉しかった」という。キャッチャーとしての今後の課題については「送球を速く、正確にしていきたい。また、ピッチャーや周りの変化に素早く気付いて対応する

▼インタビューを受ける川端君



急遽！OBもお手伝いに

7月31日から8月2日まで、ほとんどの新聞部員は総合文化祭で長崎に行っており、東高に残っている部員は2名。この3日間OB・OGが取材の手伝いをする。新聞部はOB・OGを含め、総力を挙げて野球部の応援をしていく予定だ。



▼写真を撮るOG



▲笑顔で話す武田君

洞察力を鍛えること」と話す。応援してくれている方々へのメッセージを聞くと「応援のおかげでピンチがチャンスになる。優勝への後押しになったのでとても感謝している」と答えてくれた。